

# アンケート調査報告書

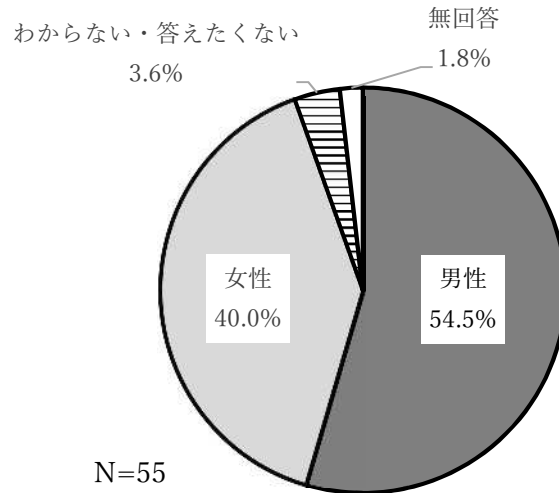
【発達障害のある人】

---

【A アンケートにお答えいただく方（あなた）の基本的なことについてお聞きします】

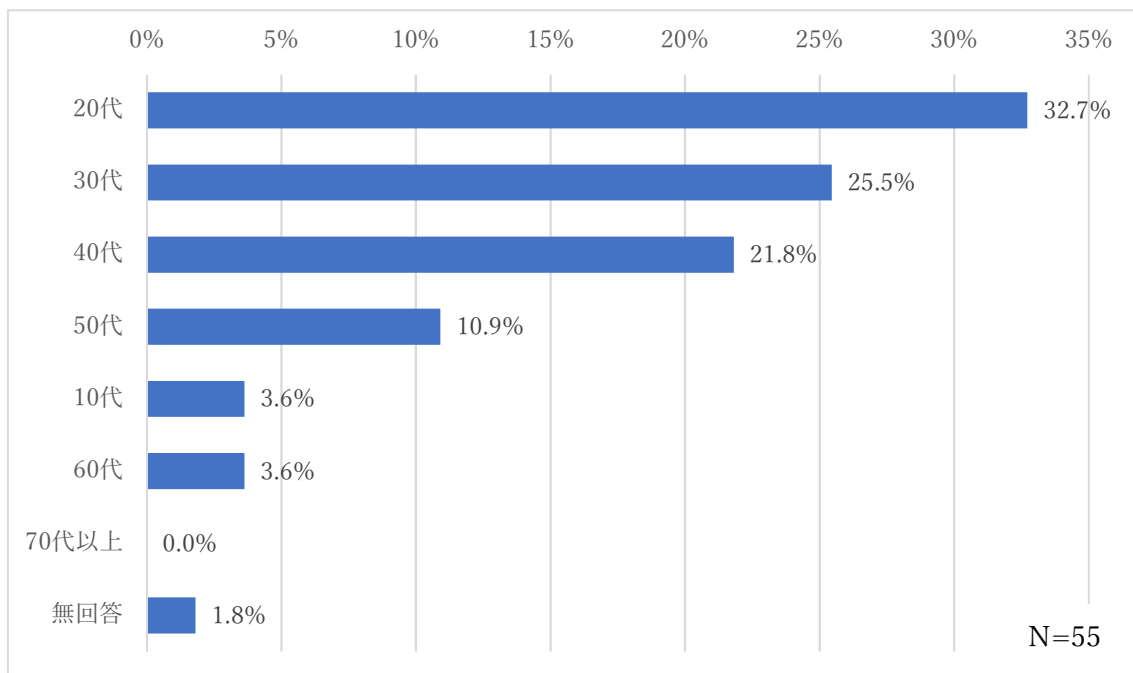
問1 お答えいただく方（あなた）の性別について、お答えください。

性別は、「男性」（54.5%）、「女性」（40.0%）となっている。



問2 お答えいただく方（あなた）の現在の年齢について、お答えください。

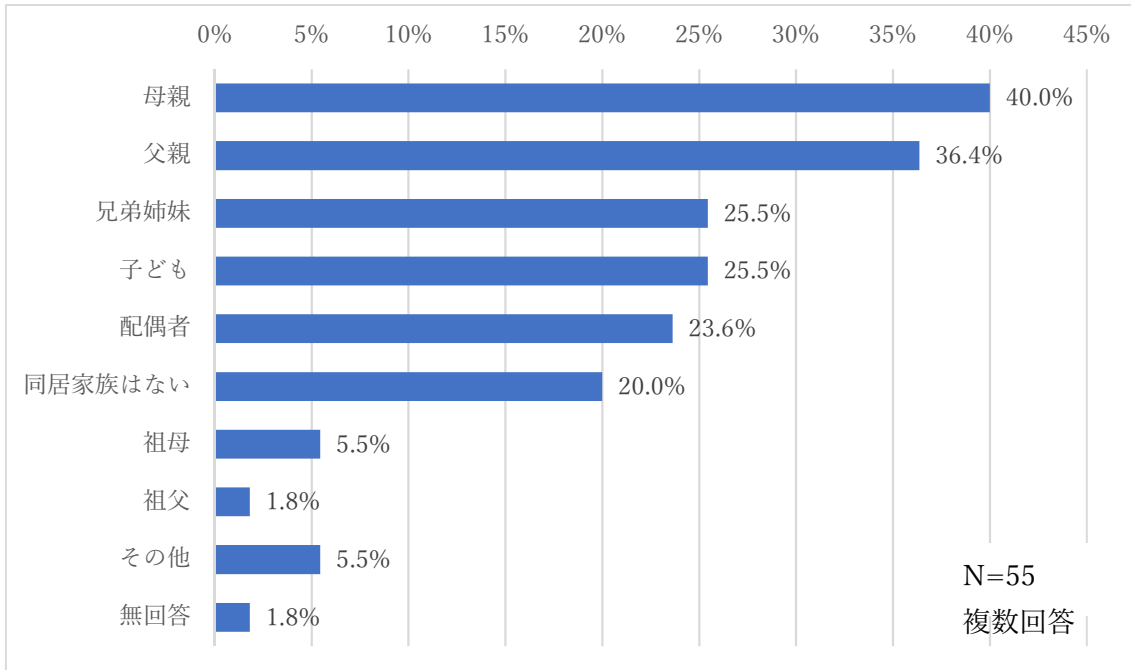
年代別は、「20代」（32.7%）が最も多く、次いで「30代」（25.5%）、「40代」（21.8%）となっている。



【B あなたの日常生活について伺います】

問3 現在、同居しているご家族について、当てはまる方をすべてお答えください。

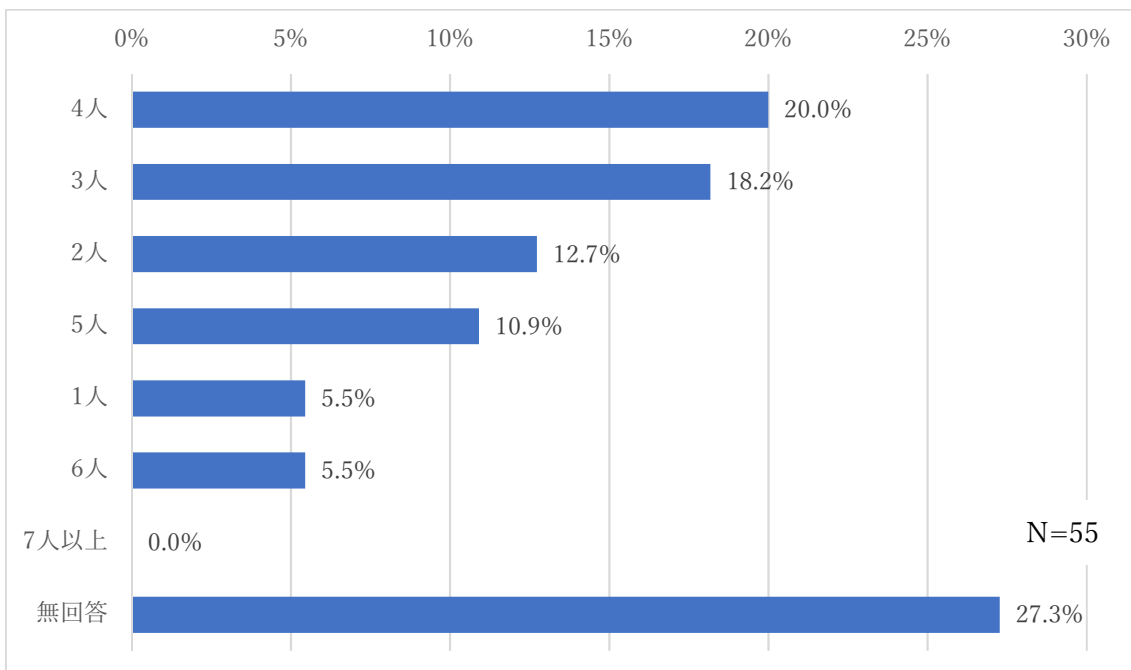
同居している家族は、「母親」(40.0%)が最も多く、次いで「父親」(36.4%)、「兄弟姉妹」、「子ども」(25.5%)となっている。



(その他) 義父、義母、パートナー

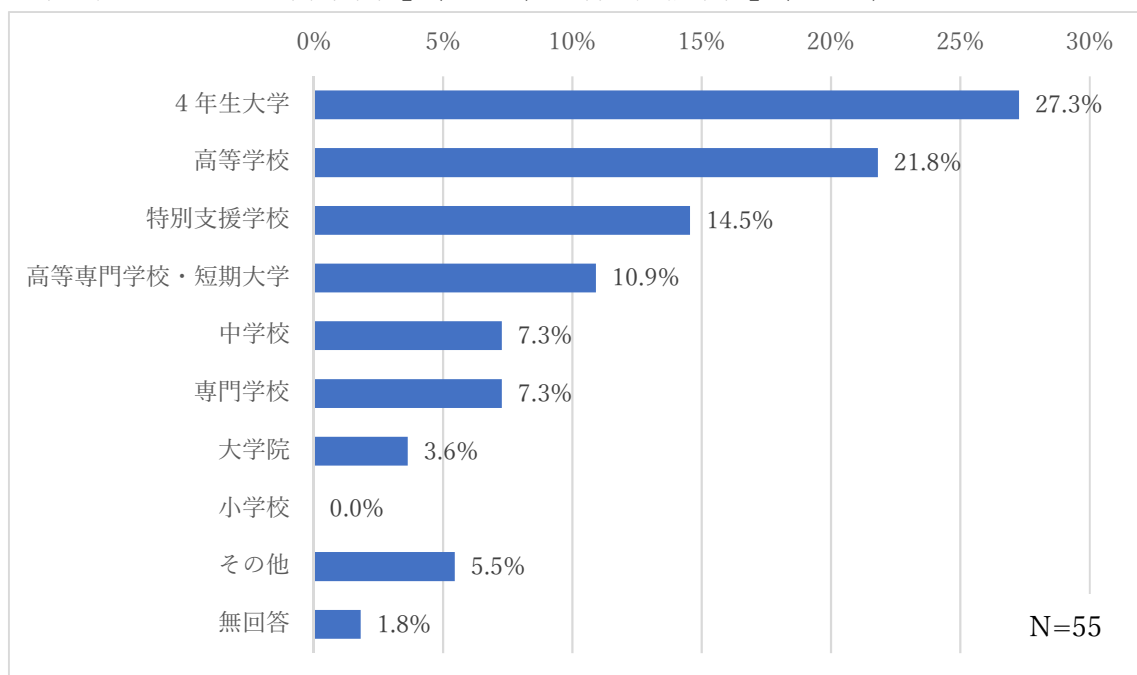
問4 現在、同居しているご家族は、全部で何人ですか。あなた自身も含めた人数をお答え下さい。

同居している家族の人数は、「4人」(20.0%)が最も多く、次いで「3人」(18.2%)、「2人」(12.7%)となっている。



問5 あなたが最後に卒業（中退を含む）した、または現在通っている学校はどれですか。  
当てはまるものをひとつ選んでください。

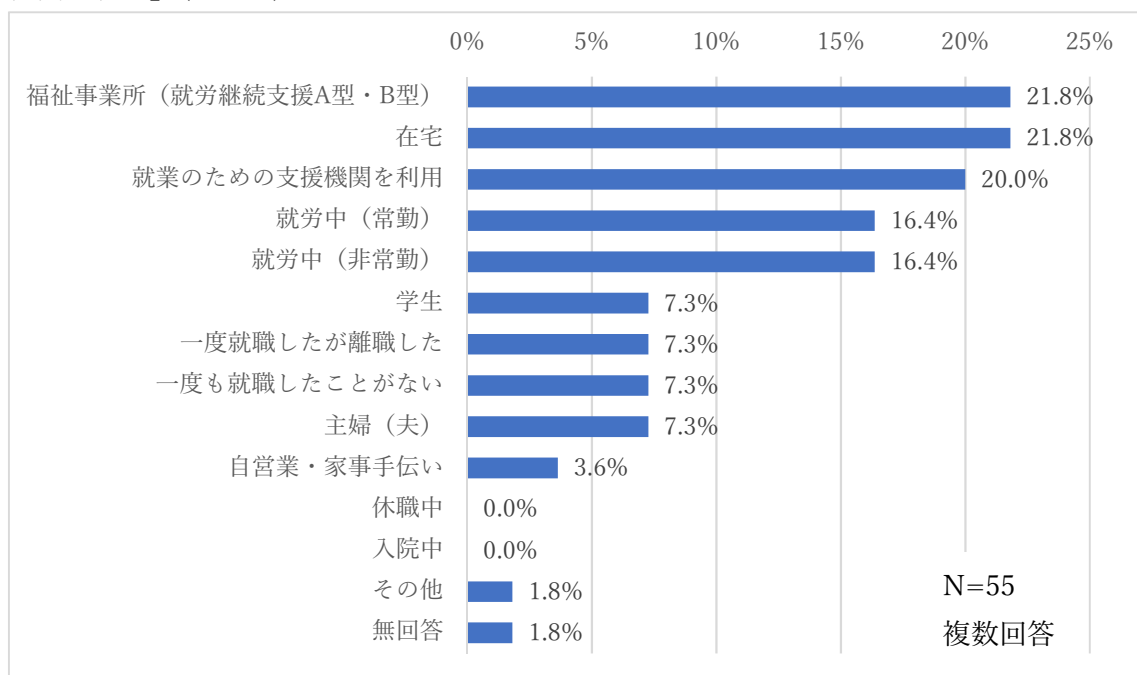
最後に卒業（中退を含む）した、または現在通っている学校は、「4年生大学」（27.3%）が最も多く、次いで「高等学校」（21.8%）、「特別支援学校」（14.5%）となっている。



（その他）大学中退、能力開発大学校（2）

問6 あなたの現在の状況をお答えください。当てはまるものをすべて選んでください。

現在の状況は、「福祉事業所」・「在宅」（21.8%）が最も多く、次いで「就業のための支援機関を利用」（20.0%）となっている。

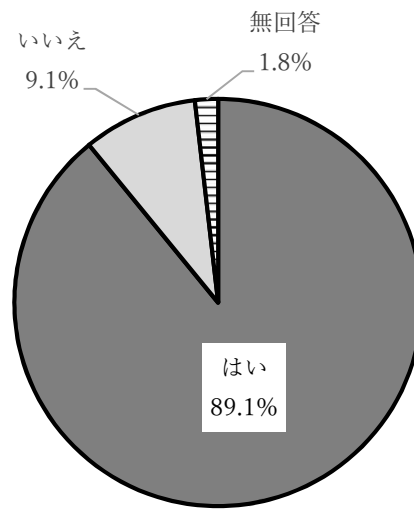


（その他）生活介護事業所

【C 発達障害の診断や医療機関の利用状況について伺います】

問7 あなたは医療機関で発達障害の診断を受けていますか。

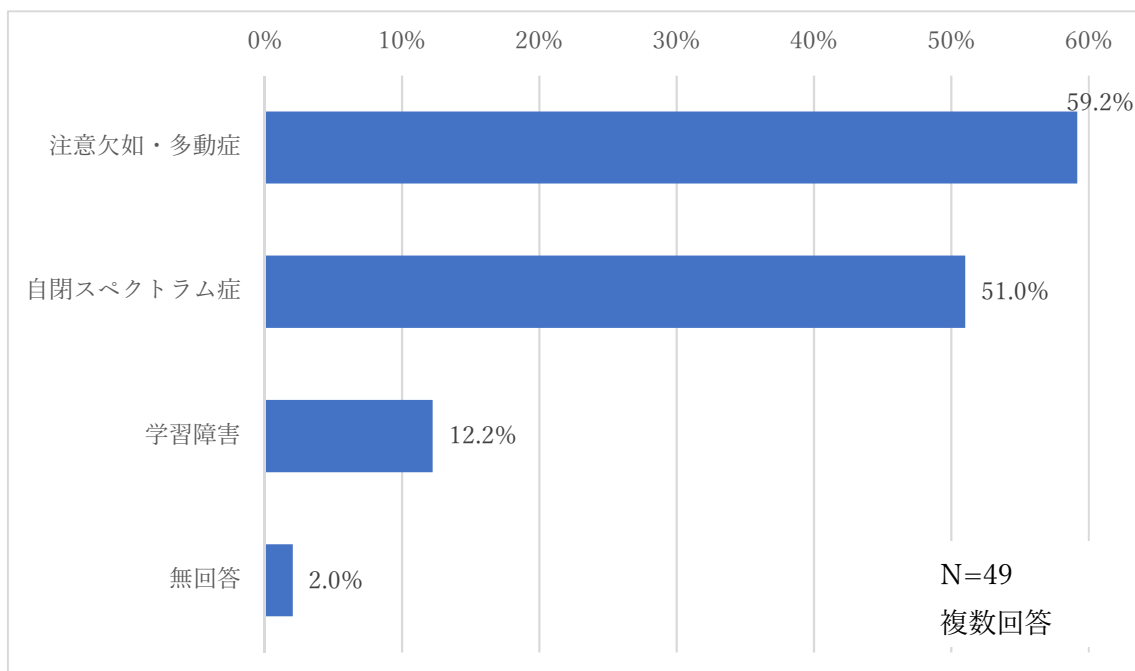
発達障害の診断を受けているかについては、「はい」(89.1%)、「いいえ」(9.1%)となっている。



N=55

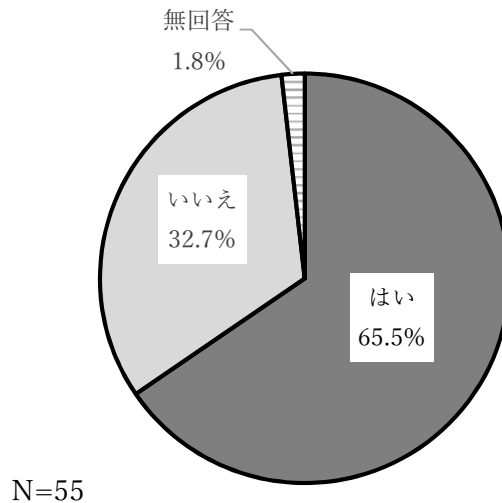
副問7-1 問7で「はい」と答えた方におたずねします。どのような診断を受けていますか。診断名として当てはまるものをすべて選んでください。

診断名は、「注意欠如・多動症」(59.2%)が最も多く、次いで「自閉スペクトラム症」(51.0%)、「学習障害」(12.2%)となっている。



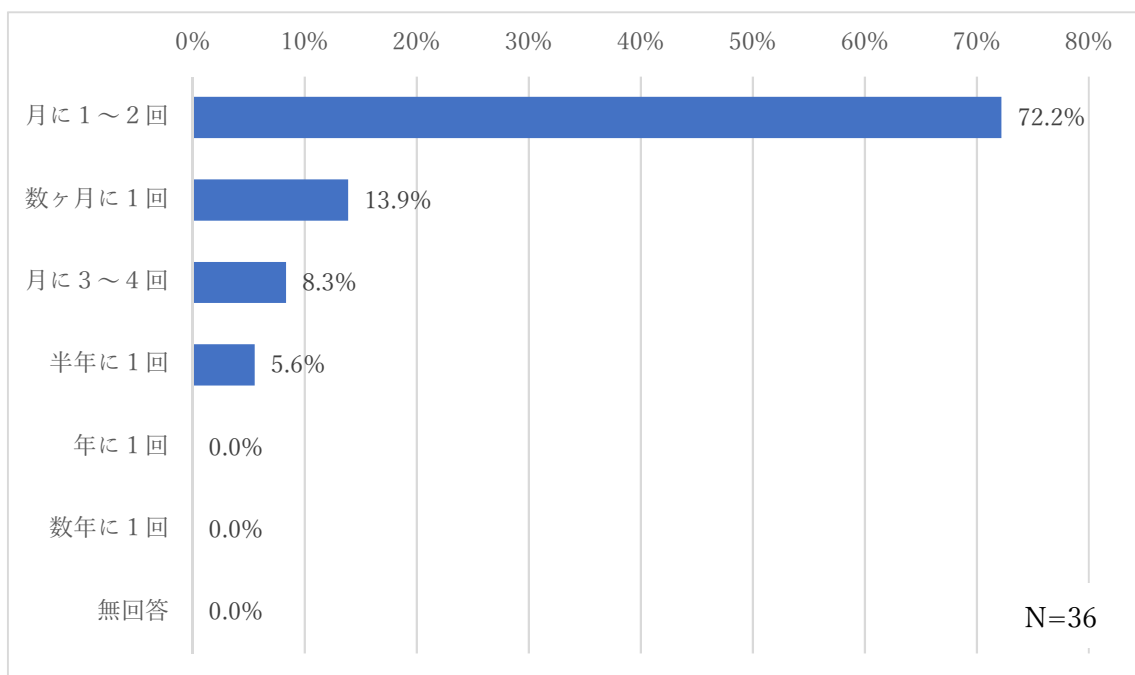
問8 現在、あなたは発達障害に伴う症状の治療のため、定期的に医療機関に通っていますか。

治療のため、医療機関に通っているかについては、「はい」(65.5%)、「いいえ」(32.7%)となっている。



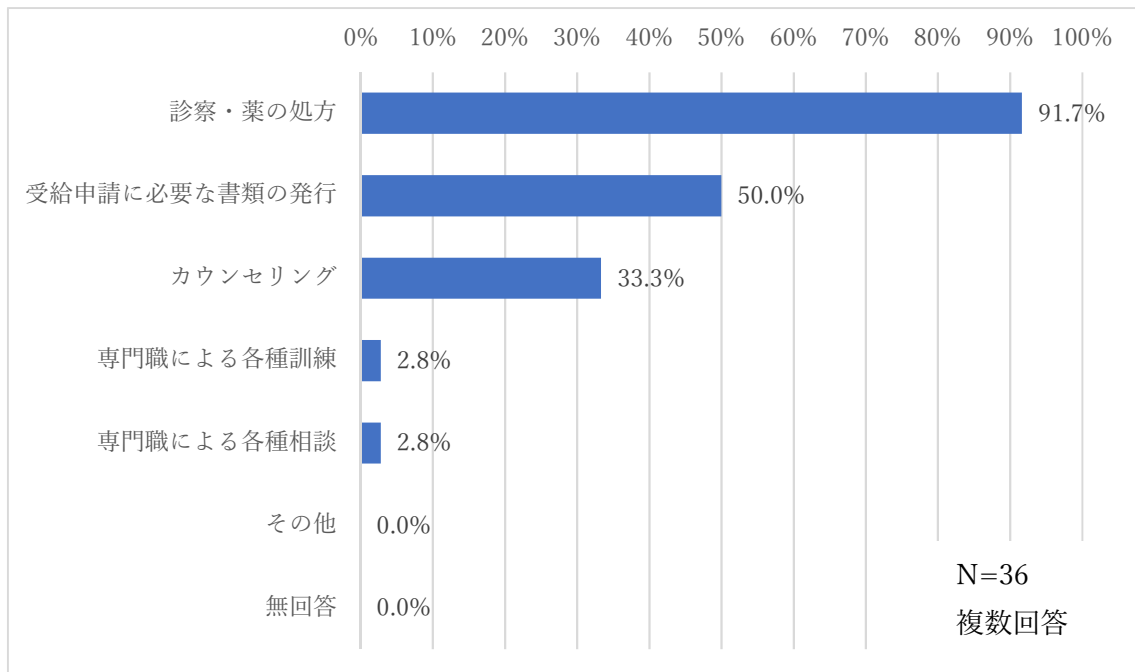
副問8-1 問8で「はい」と答えた方におたずねします。どのくらいの頻度で受診していますか。当てはまるものをひとつ選んでください。

受診の頻度は、「月に1～2回」(72.2%)が最も多く、次いで「数ヶ月に1回」(13.9%)、「月に3～4回」(8.3%)となっている。



副問8-2 問8で「はい」と答えた方におたずねします。現在、医療機関ではどのような治療を受けていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

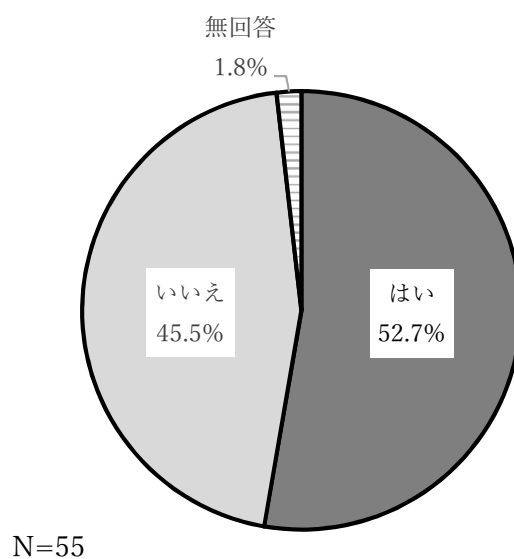
どのような治療を受けているかについては、「診断・薬の処方」(91.7%)が最も多く、次いで「受給申請に必要な書類の発行」(50.0%)、「カウンセリング」(33.3%)となっている。



【D 障害福祉サービスの利用状況及び障害者手帳の取得状況について伺います】

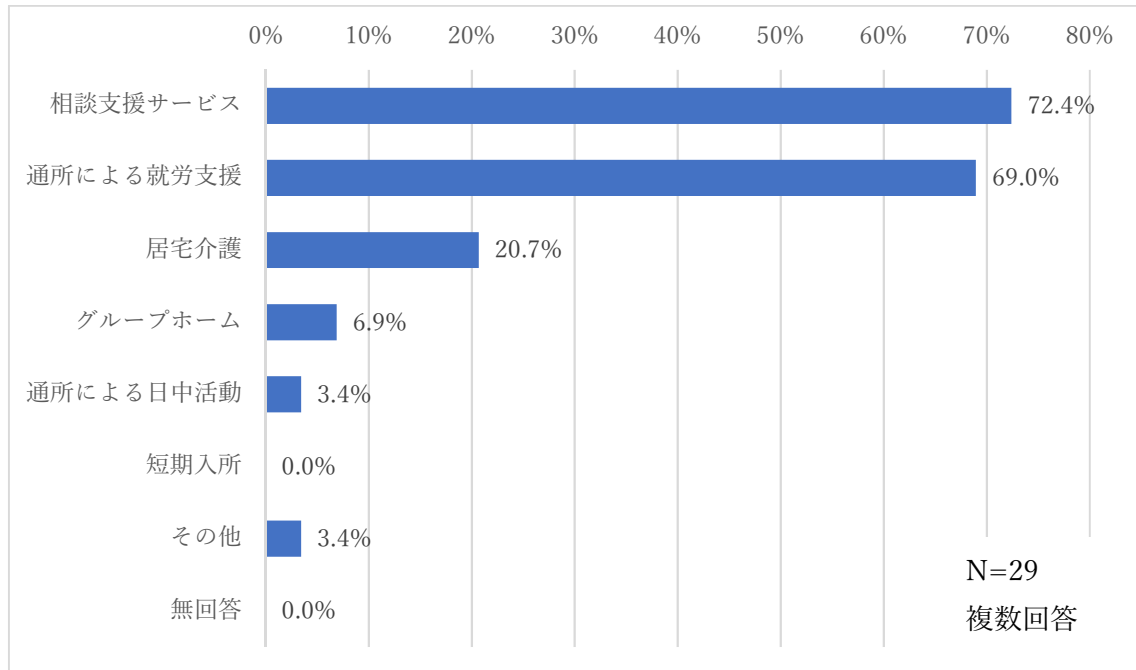
問9 現在、あなたは障害福祉サービスを利用していますか。

障害福祉サービスを利用しているかについては、「はい」(52.7%)、「いいえ」(45.5%)となっている。



副問9-1 問9で「はい」と答えた方におたずねします。どのようなサービスを利用して  
いますか。当てはまるものをすべて選んでください。

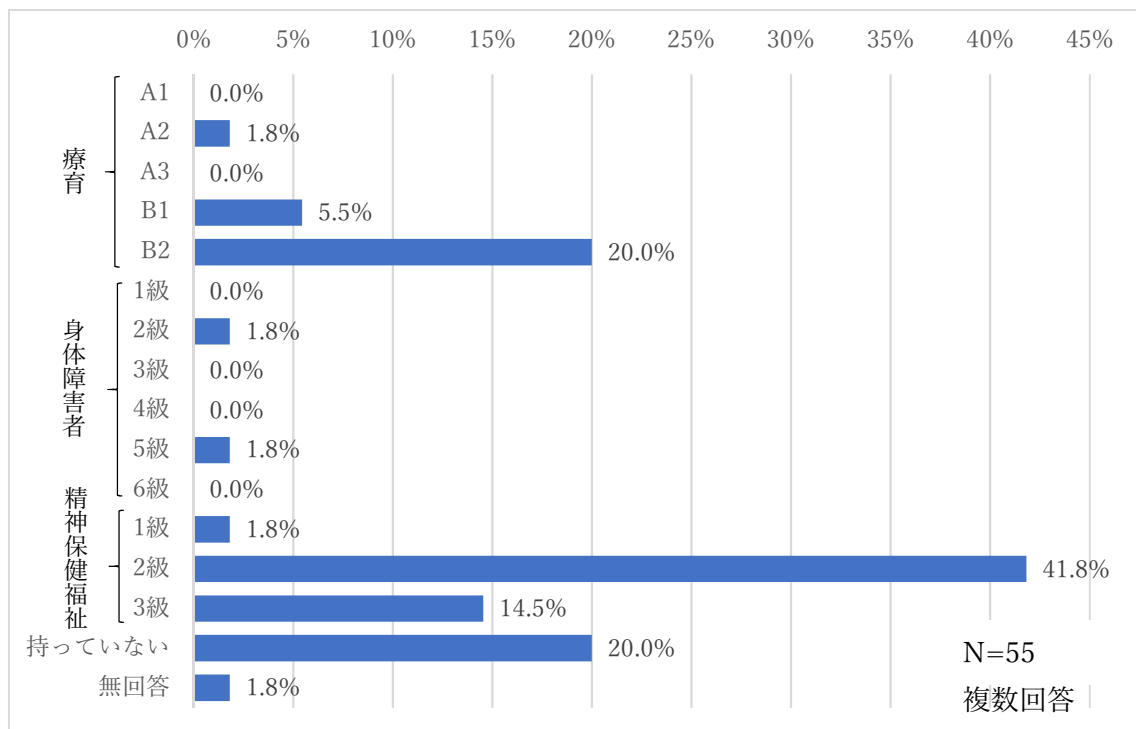
どのようなサービスを利用しているかについては、「相談支援サービス」(72.4%)が最も  
多く、次いで「通所による就労支援」(69.0%)、居宅介護(20.7%)となっている。



(その他) 訪問看護

問10 現在、あなたは障害者手帳を持っていますか。当てはまるものをすべて選んでくだ  
さい。

障害者手帳については、「精神保健福祉手帳2級」(41.8%)が最も多く、次いで「療育手  
帳B2」・「持っていない」(20.0%)となっている。

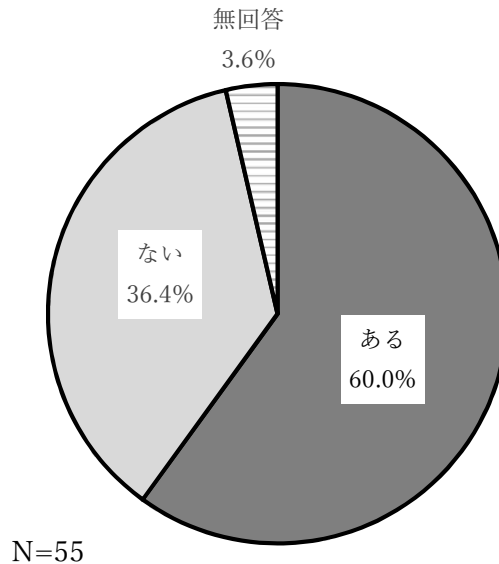




【E 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います（その① 特性の理解）】

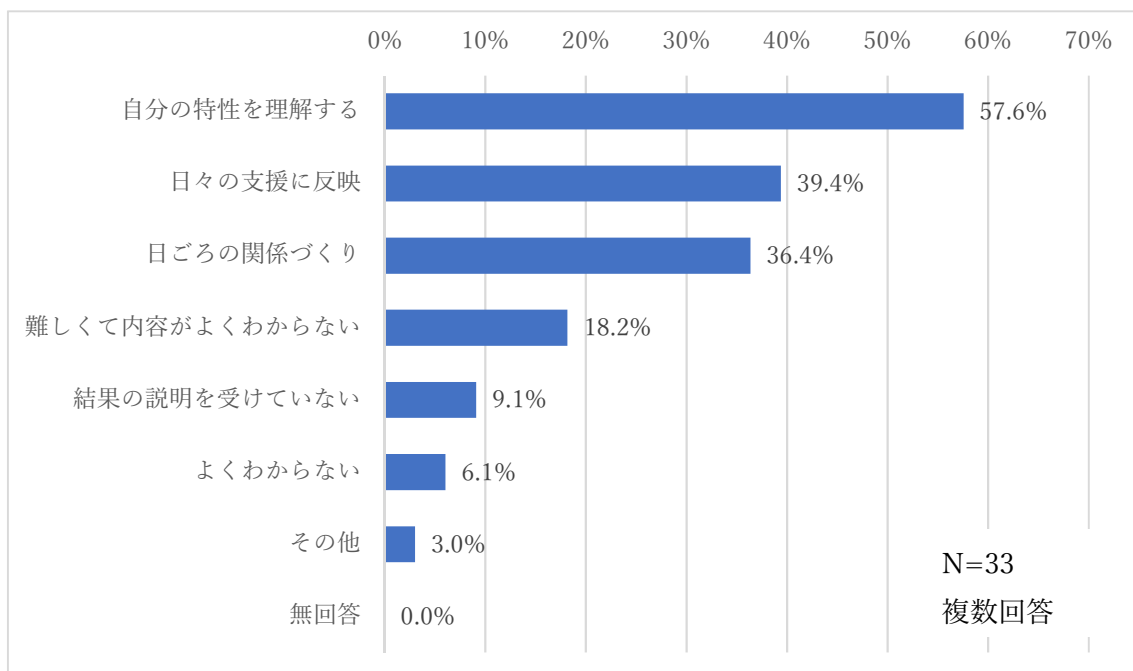
問11 あなたはご自身の発達障害に伴う「感じ方（感覚）」や「周りのことの理解の仕方」「自分の気持ちの表し方」など（以下「障害特性」と記載）にどのような特徴があるか、専門職の人（医師、発達障害に関する専門機関の職員等）などに調べてもらったことがありますか。

専門職に調べてもらったことがあるかについては、「ある」（60.0%）、「ない」（36.4%）となっている。



副問11-1 問11で「ある」と答えた方におたずねします。調べた結果は、どのように役立てましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

どのように役立てたかについては、「自分の特性を理解する」（57.6%）が最も多く、次いで「日々の支援に反映」（39.4%）、「日ごろの関係づくり」（36.4%）となっている。

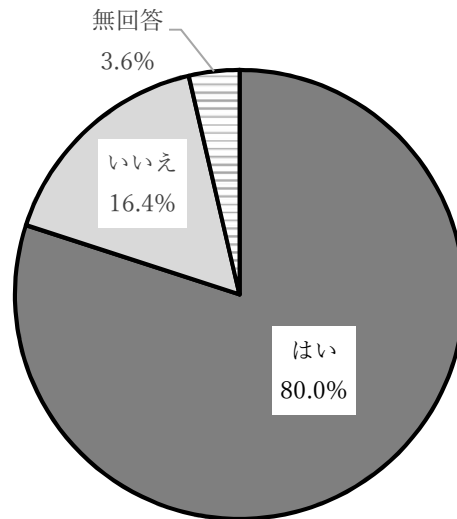


（その他）説明があまり役に立たなかったので、自分で調べました。

【F 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その② 日常生活について)】

問12 あなたが日常生活を送る上で特に配慮が必要な障害特性について、具体的に把握していますか。

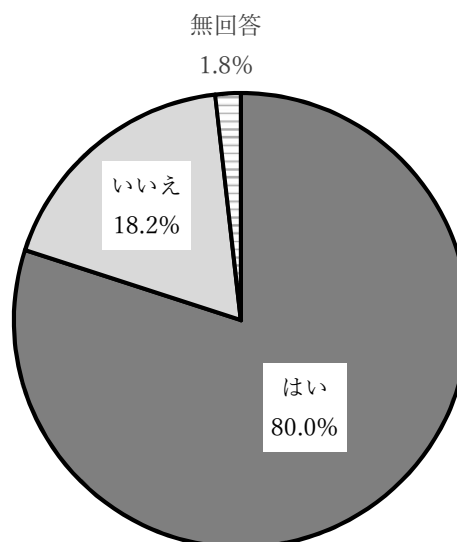
障害特性を具体的に把握しているかについては、「はい」(80.0%)、「いいえ」(16.4%)となっている。



N=55

問13 あなたが日常生活を送る上で特に配慮が必要な障害特性に対して、現在、何らかの「手立て」を行っていますか。

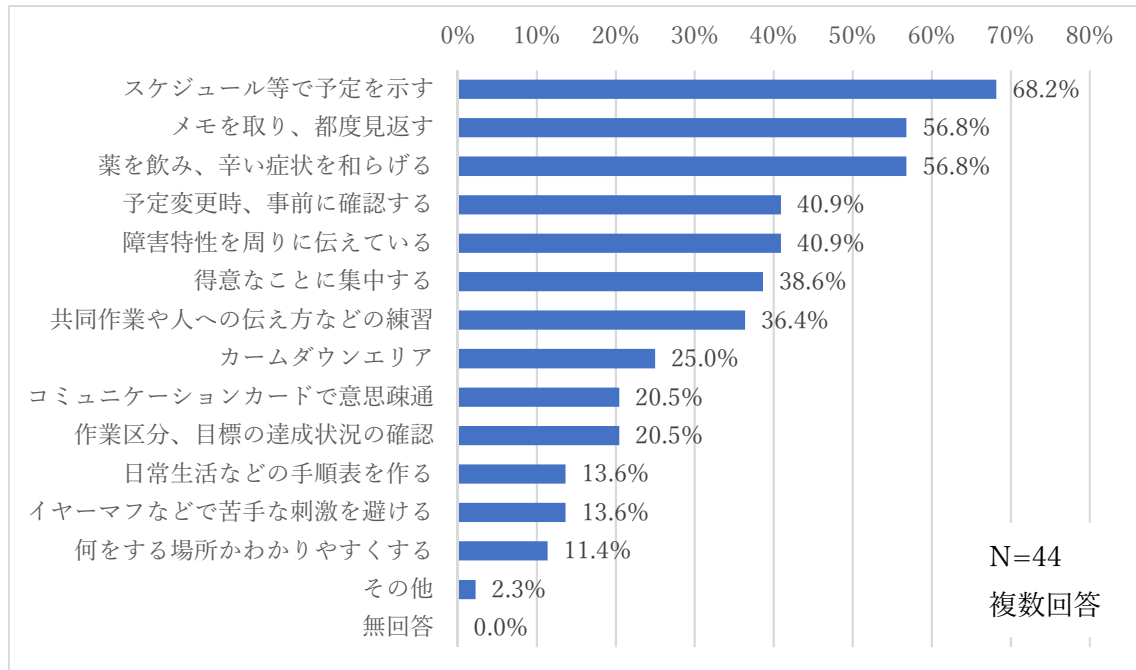
何らかの「手立て」を行っているかについては、「はい」(80.0%)、「いいえ」(18.2%)となっている。



N=55

副問13-1 問13で「はい」と答えた方におたずねします。具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものをすべて選んでください。

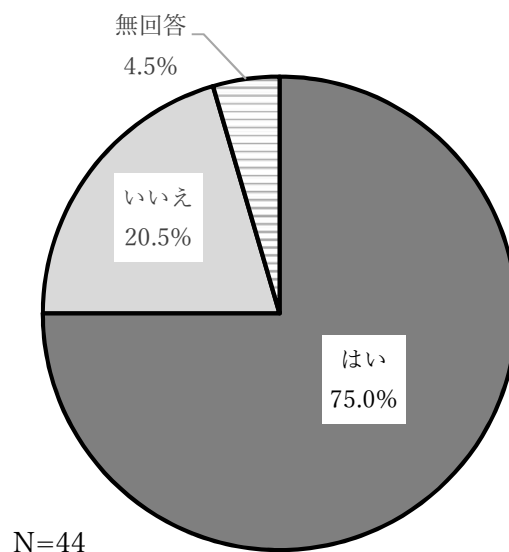
どのような「手立て」を講じているかについては、「スケジュール等で予定を示す」(68.2%)が最も多く、次いで「メモを取り、都度見返す」・「薬を飲み、辛い症状を和らげる」(56.8%)となっている。



(その他) お金を制限なく使う特性があるから小遣い帳をつけています。

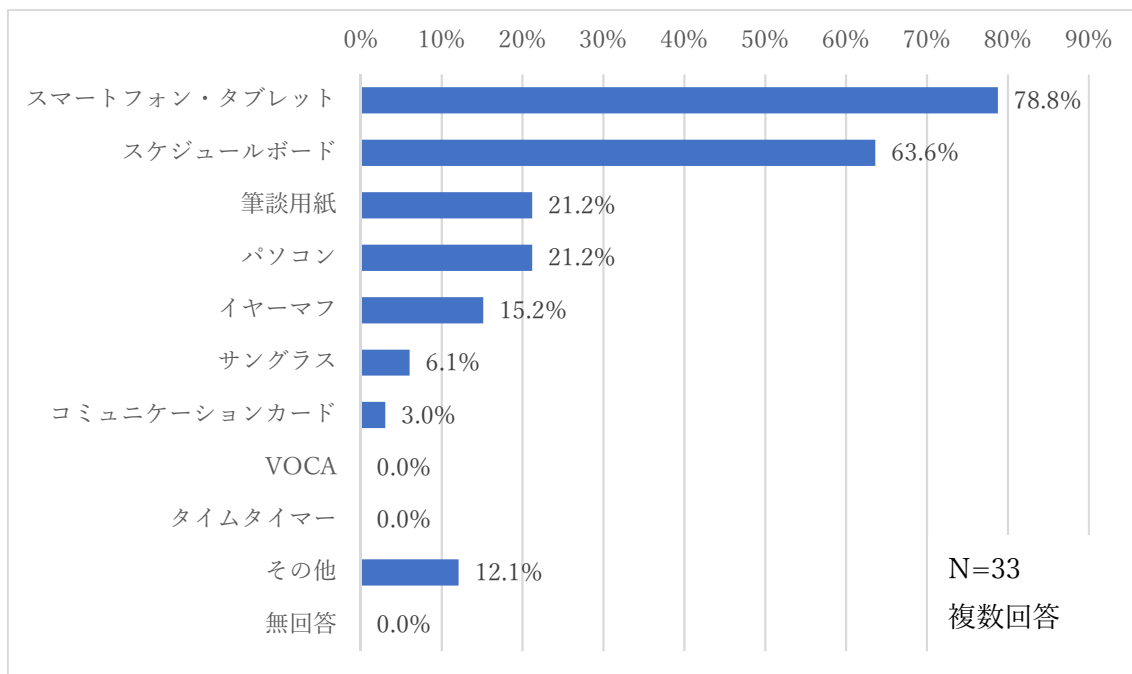
副問13-2 問13で「はい」と答えた方におたずねします。日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール（道具や用紙など）を使っていますか。

ツールを使っているかについては、「はい」(75.0%)、「いいえ」(20.5%)となっている。



副問 1 3-2-1 副問 1 3-2 で「はい」と答えた方におたずねします。主にどのようなツールを使っていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

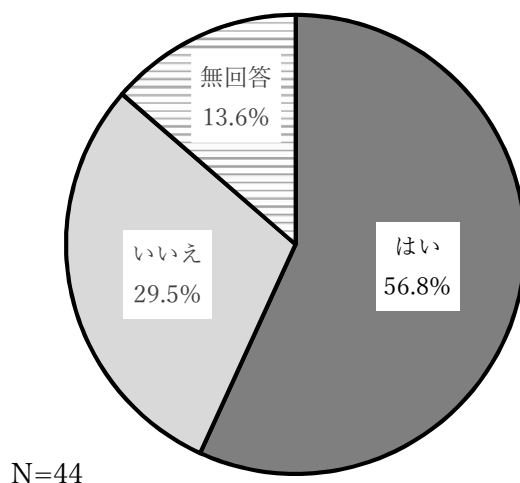
どのようなツールを使っているかについては、「スマートフォン・タブレット」(78.8%)が最も多く、次いで「スケジュールボード等」(63.6%)、「筆談用紙」・「パソコン」(21.2%)となっている。



(その他) 一般的な耳栓 (3)、ボイスレコーダー、ボールペン、ブルーライトカット眼鏡、ノイズキャンセリングイヤホン (2)、メモ、手帳

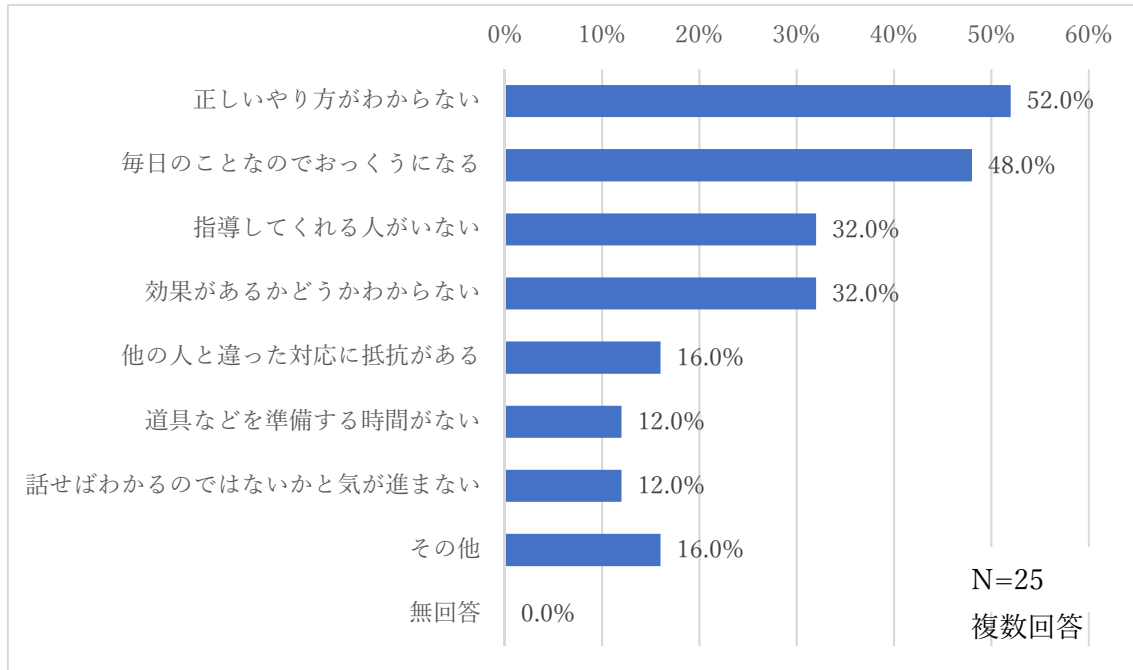
副問 1 3-3 問 1 3 で「はい」と答えた方におたずねします。日常生活上の「手立て」を講じるうえで、難しいと感じることがありますか。

難しいと感じることがあるかについては、「はい」(56.8%)、「いいえ」(29.5%)となっている。



副問1 3-3-1 副問1 3-3で「はい」と答えた方におたずねします。どのようなことに  
難しさを感じますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

どのようなことに難しさを感じるかについては、「正しいやり方がわからない」(52.0%)  
が最も多く、次いで「毎日のことなのでおっくうになる」(48.0%)、「指導してくれる人が  
いない」・「効果があるかどうかわからない」(32.0%)となっている。



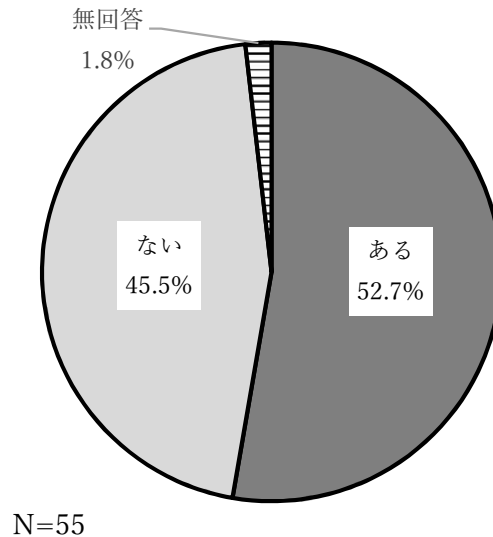
(その他)

- ・カレンダー等にメモしたこと自体を忘れてしまう。
- ・ネガティブな感情に包まれて、やる気をなくす。どうしてもよくなる。急な変更には対処し  
ようがない。聴覚過敏で頭痛がひどい時は耐えるしかない。
- ・それに掛けられる時間、体力、お金が足りない。
- ・周囲の人の配慮をうまく受けるのが難しく、言われたくないことを言われることがある。

【E 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います(その③ 支援体制について)】

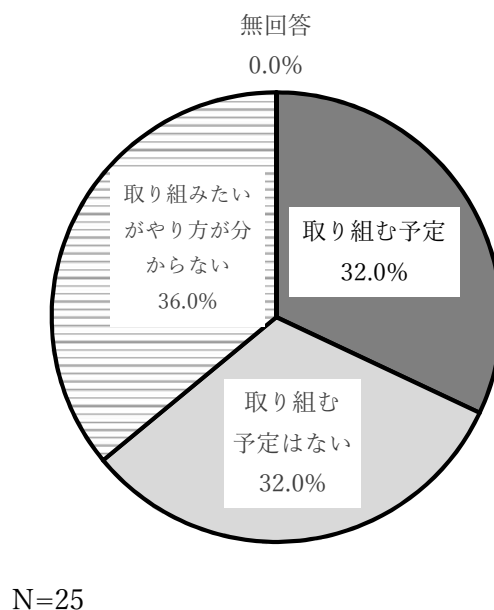
問14 日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、医療・福祉・教育・雇用(労働)などの身近な支援者と一緒に取り組んだことがありますか。

身近な支援者と一緒に取り組んだことがあるかについては、「ある」(52.7%)、「ない」(45.5%)となっている。



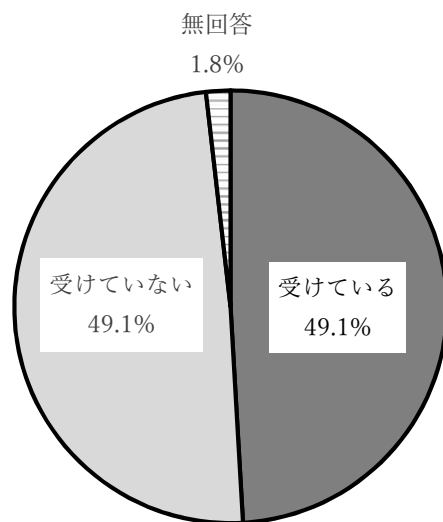
副問14-1 問14で「ない」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んでください。

今後の予定については、「取り組みたいがやり方が分からない」(36.0%)、「取り組む予定」・「取り組む予定はない」(32.0%)となっている。



問15 あなたは専門機関（病院、発達障害者支援センターつばさ、障害者基幹相談支援センター、子ども総合センター等）から、助言や指導を受けていますか。

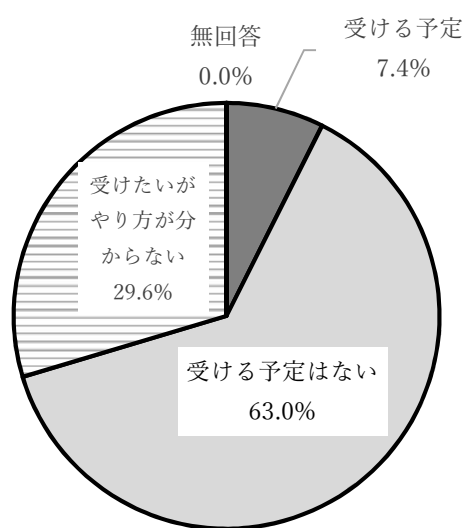
助言や指導を受けているかについては、「受けている」(49.1%)、「受けていない」(49.1%)となっている。



N=55

副問15-1 問15で「受けていない」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んでください。

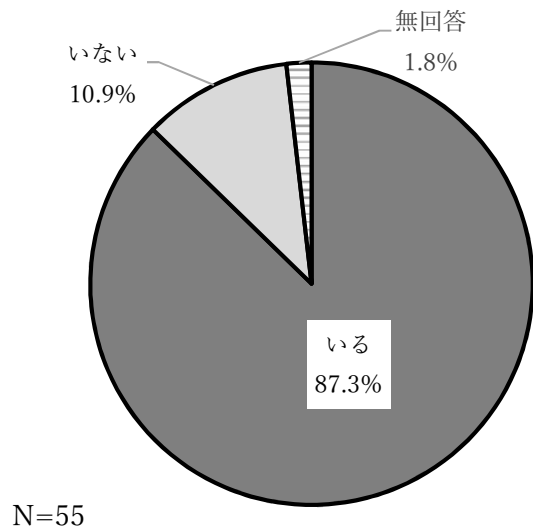
今後の予定について、「受ける予定はない」(63.0%)、「受ける予定」(7.4%)、「受ける予定はない」(29.6%)となっている。



N=27

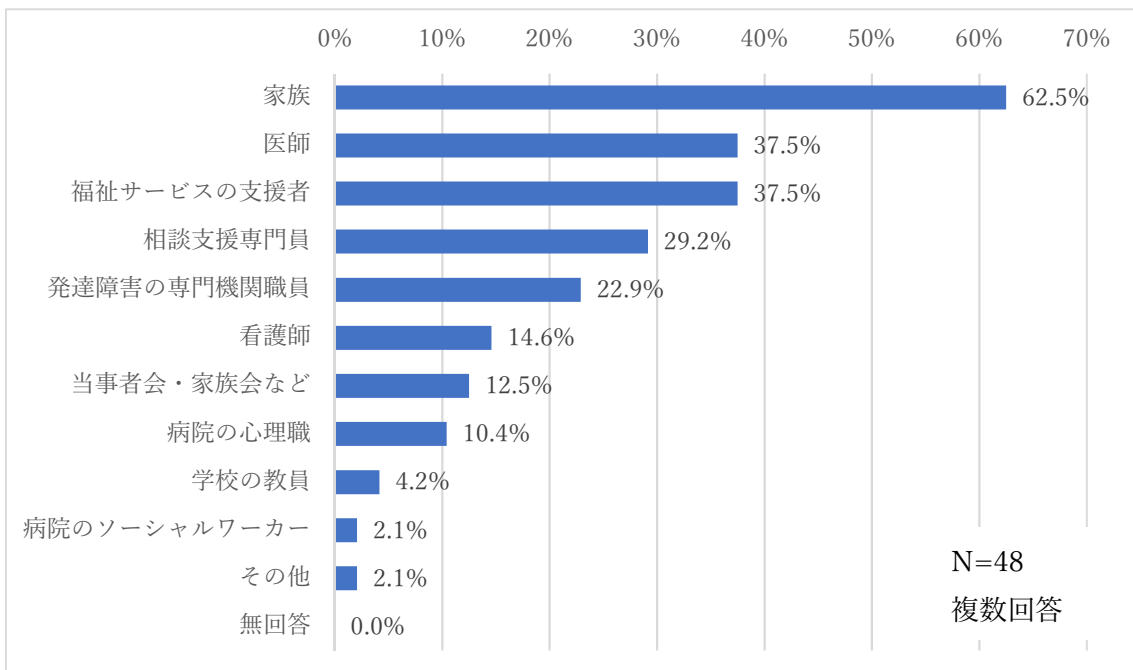
問16 日常生活を送る上で、困ったときに頼れる相談相手はいますか。

頼れる相談相手がいるかについては、「いる」(87.3%)、「いない」(10.9%)となっている。



副問16-1 問16で「いる」と答えた方におたずねします。主な相談相手は誰ですか。該当するものをすべて選んでください。

相談相手については、「家族」(62.5%)が最も多く、次いで「医師」・「福祉サービスの支援者」(37.5%)となっている。

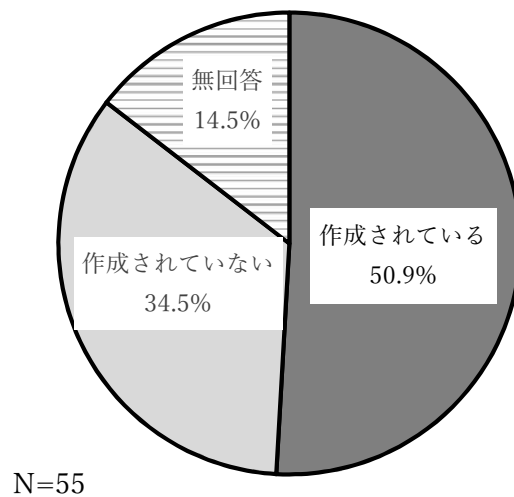


(その他) 福祉関係



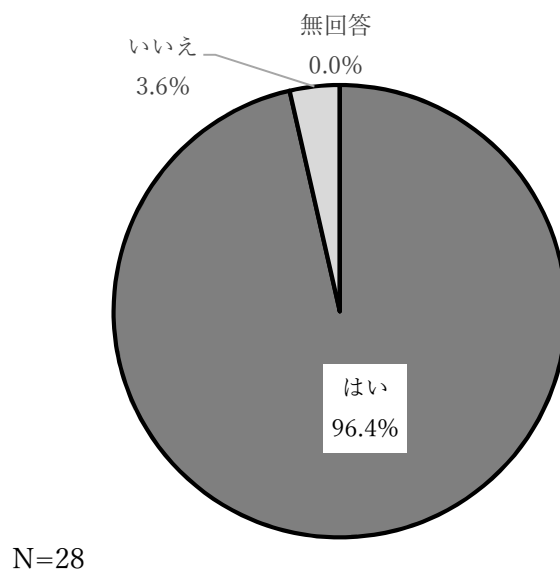
問17 日頃利用されている障害福祉サービス事業所や、教育、雇用(労働)などの支援の場では、個別の支援計画は作成されていますか。

個別の支援計画を作成しているかについては、「作成されている」(50.9%)、「作成されていない」(34.5%)となっている。



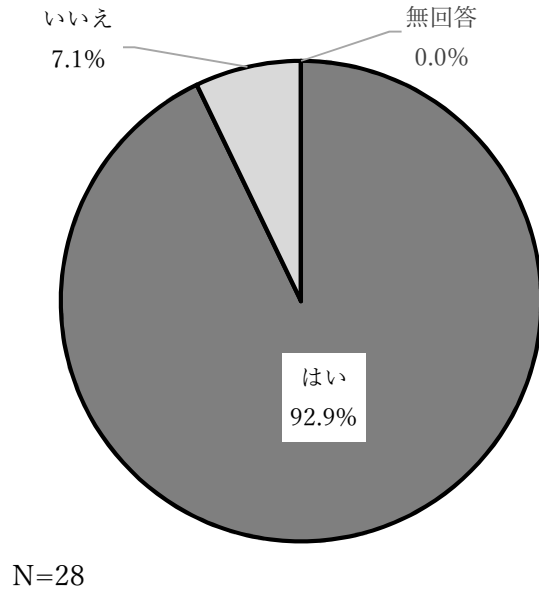
副問17-1 問17で「作成されている」と答えた方におたずねします。作成された計画について、定期的に取り組みの結果を振り返り、その成果や課題を踏まえて内容の見直しが行なわれていますか。

成果や課題を踏まえて内容の見直しをしているかについては、「はい」(96.4%)、「いいえ」(3.6%)となっている。



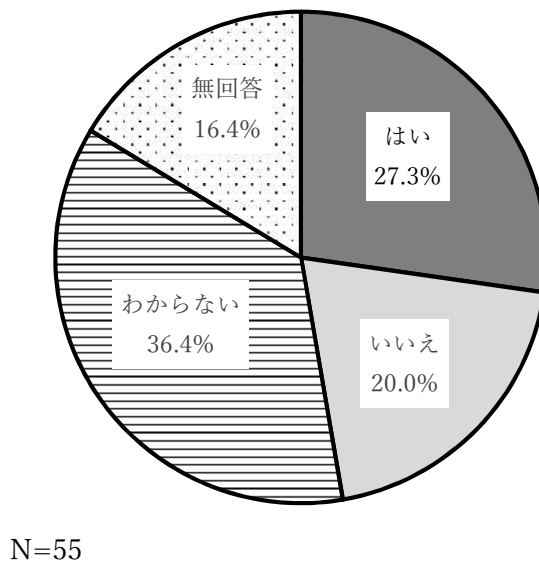
副問 17-2 問 17で「作成されている」と答えた方におたずねします。あなたは、ご自身の支援計画の作成やその見直し作業に参加して、意見や要望を直接伝えていますか。

意見や要望を伝えているかについては、「はい」(92.9%)、「いいえ」(7.1%)となっている。



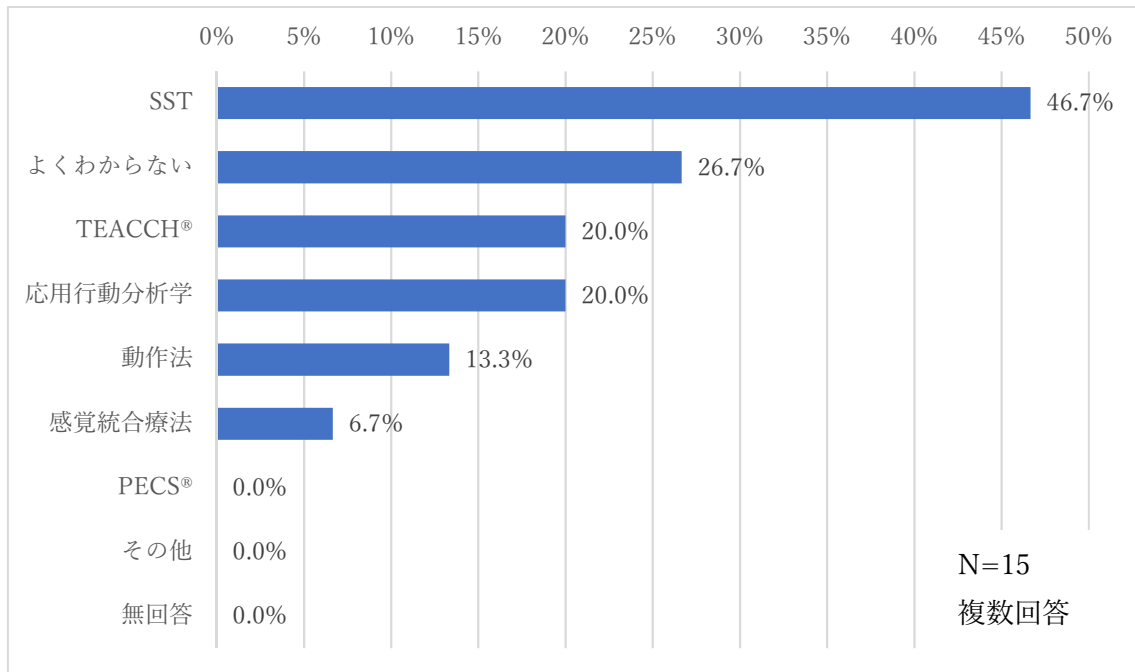
問 18 福祉・教育・雇用(労働)などの支援内容に、専門的な手法が一部でも取り入れられていますか。

専門的な手法が取り入れられているかについては、「わからない」(36.4%)、「はい」(27.3%)、「いいえ」(20.0%)となっている。



副問18-1 問18で「はい」と答えた方におたずねします。どのような手法を取り入れていますか。該当するものをすべて選んでください。

どのような手法を取り入れているかについては、「SST」(46.7%)が最も多く、次いで「よくわからない」(26.7%)、「TEACCH®」・「応用行動分析学」(20.0%)となっている。



副問18-2 問18で「いいえ」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んでください。

今後の予定については、「取り入れる予定はない」(45.5%)、「取り入れたいがやり方が分からない」(27.3%)、「取り入れる予定」(9.1%)となっている。

